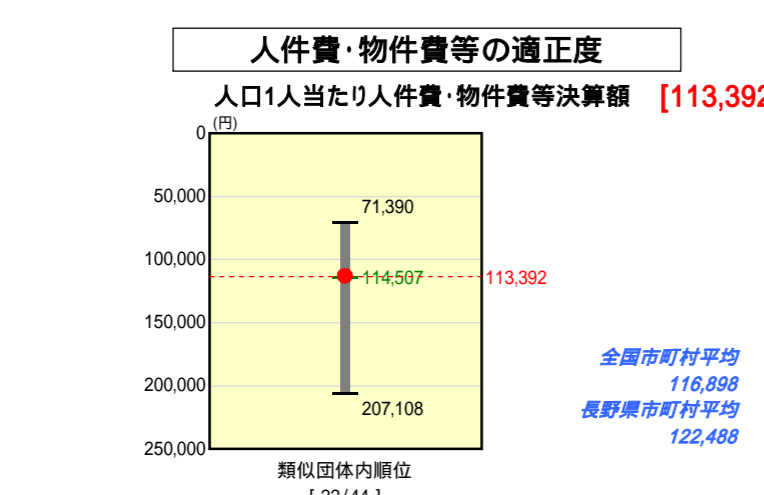
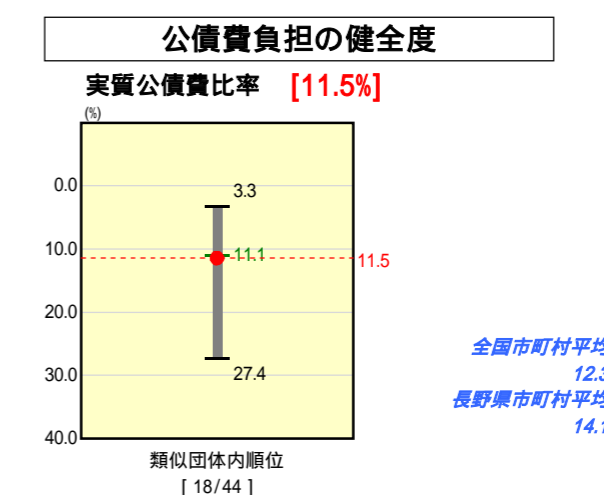
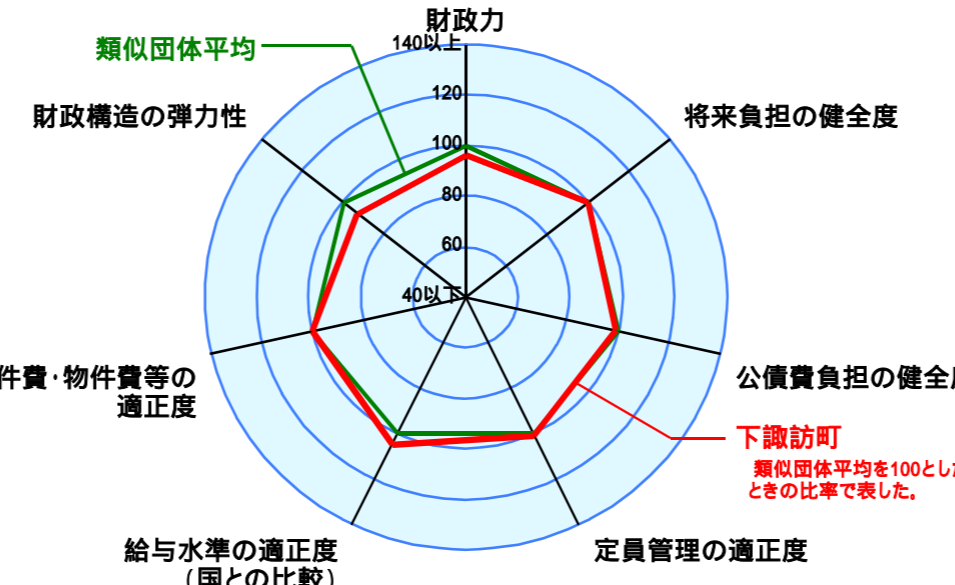
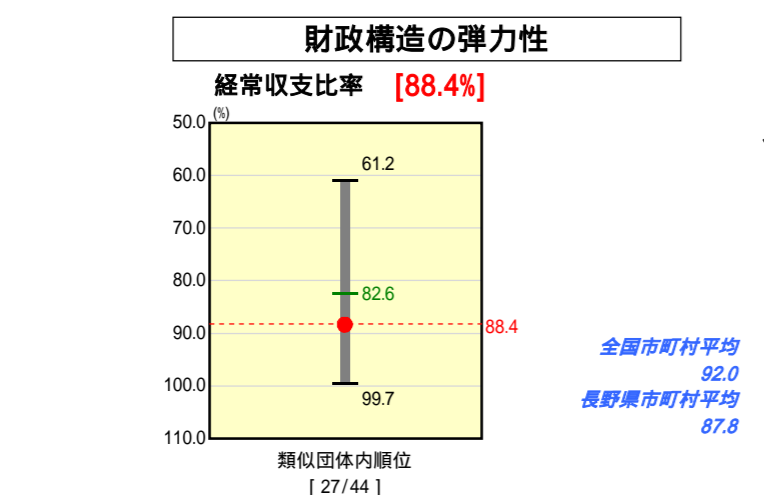
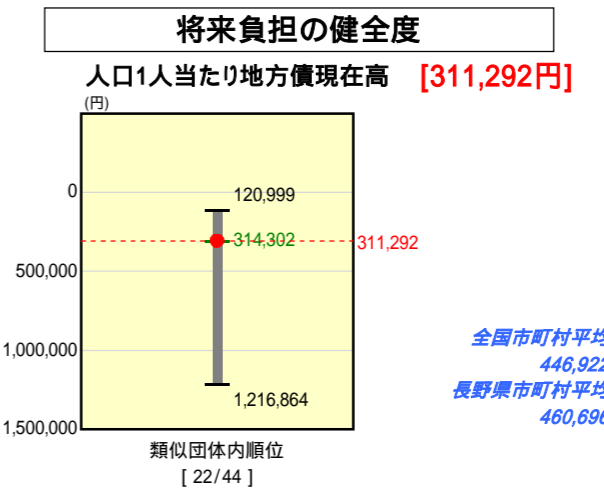
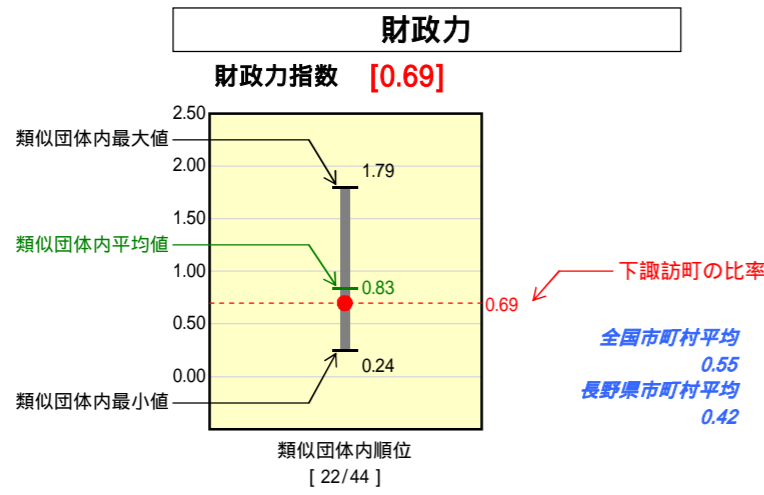


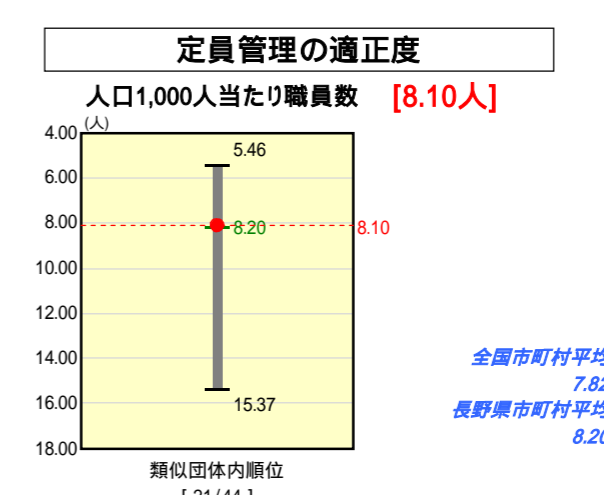
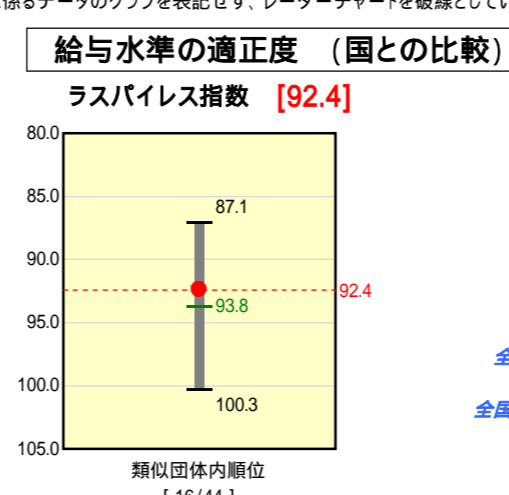
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

長野県 下諏訪町

人口	22,233 人(H20.3.31現在)
面積	66.90 km ²
歳入総額	6,868,331 千円
歳出総額	6,634,148 千円
実質収支	234,183 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 近年上昇傾向にあり、全国及び県内市町村の平均値を上回っている。町土の8割以上を森林が占め、可住地面積の少ないコンパクトな地形的特性により行政効率が高く、基準財政需要額が低めに算出されることもあるが、引き続き地方税等の自主財源確保と歳出削減等に努め、財政基盤の強化を図っていく。

【経常収支比率】 下水道事業特別会計に対する繰出基準の見直し等に伴い、前年度の83.6から大幅に上昇した。高齢化率の上昇に伴い、今後も扶助費などの増加が見込まれるが、計画的な人件費と公債費の圧縮とともに、行財政改革への取り組みを通じて経常経費の削減を図っていく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 類似団体や全国・県内市町村の平均値よりも下回っているが、20年度に実施した機構改革によるグループ化の成果を発揮するとともに、23年度に予定されている保育園の統廃合などにより、更なる経費削減を図っていく。

【人口1人当たり地方債現在高】 今のところ類似団体の平均値を下回っているが、今後、大型建設事業が予定されている。18年度にスタートした「行財政経営プラン」では、地方債現在高を17年度末の82億4千万円から27年度末には65億円にすることを目標値としており、計画的な事業実施と着実な起債償還を進めていく。

【実質公債費比率】 類似団体の平均値より若干上回っている。今後控えている大型建設事業も視野に入れながら、計画的な公債費管理に努め、財政運営を圧迫することがないように、比率抑制に努めていく。

【人口1,000人当たり職員数】 定員適正化計画を基に、新規職員の採用は退職者の3分の2を目処とするなど、「行財政経営プラン」に基づき、22年度を目標に職員数10%と人件費2億円程度の削減を目指して、引き続き計画的な定員管理に努めていく。

【ラスパイレス指数】 類似団体及び全国の平均値よりも低水準であるが、今後も適正な給与水準を維持する一方、人事考課制度の運用により、公正な処置を確保し、住民サービス向上に結びつけていく。